

令和6年度 第2回東毛地区人権教育指導者研修会

【人権講演会】

誰もが社会の一員として、互いに支え合う
「共生社会」を目指して

SUBARU陸上競技部
唐澤剣也氏 小林光二氏



唐澤剣也 主な成績 (1/2)

男子1500m (視覚障害 T11)	4分04秒40 AR
男子5000m (視覚障害 T11)	14分51秒48 AR
男子ハーフマラソン (視覚障害 T11)	1時間08分30秒 WR
男子フルマラソン (視覚障害 T11)	2時間28分26秒



令和6年度 第2回東毛地区人権教育指導者研修会を12/7(土)に、みどり市のグンエイホールPALで、東毛地区の各市町人権教育組織員、社会教育関係者、学校教育関係者、人権教育・パラスポーツに興味のある方を対象に開催しました。

「障がいのある人たち」の人権をテーマにパラアスリートである唐澤剣也氏、ガイドランナー小林光二氏に障がい者・ガイドランナーのそれぞれ立場でお話しをいただきました。

【参加者の声】

- 障がいと共に生きている人と、サポートする人、それぞれの考えや工夫が学べ、とても良い経験になりました。
- 障がいのある人たちの人権、共生社会という視点だけでなく、すべての人の生き方について考えさせられる内容で、とても有意義な研修となりました。
- 障がいは障がいではないということ。自分を見るのが苦手なだけでという言葉が印象に残っています。私たちは相手の人をどこまで思いやり言葉掛けができるのかと思いました。
- 「自身の障がいを苦手としてとらえることで得意な人に協力して(支えて)もらう」この話が特に印象的でした。得手・不得手は誰にでもあります。みんなで協力することの大切さを改めて感じました。